

正強会報

発行所
奈良市秋篠町50番地
正強会事務局
電話0742-41-8840(代)



第十五号発刊に寄せて ―母校を思う心を大切に―

正強会 会長 久保田 正一

正強会員の皆様お元気ですか。各々の地域や職場等で母校で培った「正しく強く」の建学の精神を大事にしながらかご活躍のことと推察いたしました大変嬉しく存じます。

さて、日頃は正強会の運営に深いご理解とご協力を賜り深く感謝の意を表します。そうした皆様方の正強会に寄せられる心が母校の発展に大きく寄与しているものと信じております。

皆様もご承知の通り、今日、少子高齢化が進み色々な面で社会に不安と探題をもたらしています。その波は私学経営にも大きく襲っておりま。母校もその波を受けてはいますが、市川理事長始め武田校長の時代に即応した学校経営によって、順調に発展を続けております。本年度の母校の入学志願者数は二六八〇名で県下ではトップクラスにあり、如何に母校奈良大学附属高校に対する社会の評価が高いかがわかります。学校の評価は教育内容、教育

方法、教育施設の面での基本的な評価、卒業生の進路の内容による評価、最後に卒業生の社会での貢献度による評価等でありま。す。いわゆるその人は「どこ

の学校を出たのか」より、その人は「何ができるのか」また、その人は、社会で「何をしたのか」がその人の卒業した学校の評価の尺度になるのではなからうか。このようなことを考えるとき、正強会員は母校で培われた建学の精神は他校にない人間の生き方の指針であると確信するものであります。即ち、人間の生き方は「正しく強く」、「努力は天才なり」の実践であります。私は八〇年の人生をこの言葉座右の銘として歩んで参りました。

正強会として母校に対して何が出来るかということを考えるとき、協力できる道は、第一に、先程述べました社会生活の中で高い評価を受ける社会人になること、第二に、母校に誇りを持つて母校の良さを世間にPRを

すること、第三に、母校への入学希望者の勧誘に務めることであると思えます。正強会の行事としては年一度の総会が唯一の会員のふれ合いの場ですが、母校の文化祭や体育祭等の行事に訪問していただき理解と認識を新たにして頂きたいと存じます。また、正強会報にも母校の教育の状況が掲載されていますのでよく目を通して下さい。

終りに本年卒業された皆さんは、この四月から正強会に正会員として入会して頂きます。現在、会員は二三一八名です。先輩と先輩の間柄で職場や学校で、同じ釜の飯を喰った者同士は懐かしいものだし、お互いの力になるものと信じております。先輩は先輩の力になり、後輩は先輩を慕う心でむすべれるところの同窓生というものはすばらしい仲間です。

毎年五月の第三日曜日は正強会の総会の開催日です。同級生揃って多勢出席して頂き、にぎにぎしく盛大な総会が開催できればと願っております。ご参加下さい。

最後になりましたが会員各位のご多幸とご健勝、更にご活躍を心より祈念いたしましたことはいさつといたします。



本校の更なる 発展を期して

奈良大学理事長 市川 良哉

新緑の朝 会員の皆さまには
ますますご健勝のことと、お慶
び申し上げます。

平素、本校の教育につきまし
ては、会長の久保田正一先生を
はじめ皆さまから格別のご支援
をいただいておりますこと、有
難く感謝いたします。

本校は大正十四年四月、敷内
敬治郎先生が向学の精神に燃え
る勤労青年のために、南都正強
中学を創設されたことにはじま
ります。爾来、時代の変遷とい

くたの試練を経て、昨年、創立
は八十周年の大きな節目を迎え、
盛大にも敬肅に記念の式典を挙
行できました。また、本年三月
からは、その八十周年記念事業
の一つとして、本校の教育の一
層の充実と飛躍を目指す、セミ
ナーハウス並びにトレーニング
ルームの建設工事にも着手いた
しました。おかげさまで、九月
には竣工の予定であります。こ
れらはずべて会員の皆さまをか
じめ、内外多くの方々のご協力

によるものと感謝いたします。
今日、少子化がどんだん進ん
で、ご高承のとおり、私学を取
り巻く環境はまことにきびしい
ものがあります。そうした状況
下で、経営破綻に陥った学校法
人もめずらしいことではなくな
っているを見ますとき、こ
ころ引き締まる思いであります。
こうした時代にこそ、わたした
ちは建学の精神に基づいて、時
代や社会の要求を先見しつつ、
確かな教育を推進していくこと
が何よりも肝要であると考えま
す。学校経営の基本は教育にあ
ることを肝に銘じている次第で
あります。幸いに、本校は武田
博利校長先生をはじめ、教職員
の皆さんが力をあわせて、教育



コンコース・モール

に専心努力して下さっている
ことはこころ強いかぎりであり
ます。
大学の方は既設の文学部・社
会学部のほか、八十周年記念
事業の一つとして、昨年四月開
設いたしました通信教育部・文
化財歴史学科は全国からたくさ
んの入学生を迎え、今年も約五
百名の熱心な新入生を受け入れ
て順調に船出いたしております。



建学の精神を

奈良大学附属高等学校

校長 武田 博利

昨年度は創立八十周年という
記念すべき年でしたが、その記
念事業として、セミナーハウス
とトレーニングルームが着工さ
れています。本年九月末には完
成することになっております。ぜ
ひ一度、わが母校を、気軽に訪
ねてください。

本校では、八十年という長い
歴史と伝統が、今日まで、脈々
と引き継がれ、この少子化の時
代でも、本校は世間から大きく
評価されています。これも、先
輩諸氏のご支援のお陰と深く感

幼稚園も園舎を改修して一新し、
園児の安全を重視し、一人ひと
りを大切にすする保育に、皆さん
からの信頼を得つつあります。
この機会に、学園はあげて教
育と研究に精進しておりますこ
とをご報告申し上げます。ど
うか、母校の更なる発展を期し
て、会員皆さまのご理解とご支
援をたまわりますようお願いい
たします。

謝申し上げます。

今日、わが国では耐震強度偽
装事件、ライブドア事件、数多
くの児童殺傷事件と、これまで
想像さえできなかった出来事が
発生しています。私は、この時
代にこそ本校の建学の精神を再
認識せねばならないと考えてい
ます。私たち教職員は、常に、
「正しく強く」「努力が天才なり」
の精神を生徒たちに真剣に理解
させねばと教育に携わっていま
す。
この三月下旬の土曜日の昼下

がり、校長室で仕事をしていますと、友人から電話が入りました。高の原での障害者の集いの会場からでした。「ボランティアですごく努力的に働いている高校生集団がいて、聞いてみると奈良大附属高校生だよ」と感謝の電話でした。この電話を聞き、これこそ、本校の脈々と続いてきた建学の精神を引き継いでくれていると意を強くしました。



シンボルタワー

た。人間にとって、知識を多く身に付けることは、大切であることは言うまでもありません。しかし、一方では、この世の中で何が正しくて、何が不正なのかを見極め、周りを公正に見渡す広い目と心を、さらに相手の立場にたって考えられる思いやりの心を養うことが、最も大事だと考えられます。本校の教育は、学習面を伸ばすとともに、心豊かな生徒たちの育成に努力せねばと考えます。

今日、私たち私学を取り巻く環境は、誠に厳しいものがありますが、教職員一同力を合わせて一人一人の生徒を大切にしながら、真摯に教育を押し進めたいと思います。

**現在在職中の
教職員**

田中 一訓	武田 美治	竹田 靖彦	岳川 茂樹	杉山 博	澤田 悦幸	沢田 美史	駒田 勝重	小林 幸市	郡 二朗	木村 佳子	北岡 克典	菊田 英雅	川勝 啓史	奥 茂樹	岡田 太一	岡田 淳	浦南 至宏	内山 肇	池端 章光	新井 巧	相道さおり
森本富士夫	森西 進	森 高宏	宮崎 武司	松長 俊雄	松田 稔	松清真由子	本庄 義正	藤本 浩之	福永 一憲	福井 政彦	花岡 昭憲	野村 正幸	中坊 弘和	中野 雄兆	中野 邦子	中川 敏文	中川 啓三	豊川 智	寺川 彦一	辻 佳子	谷口 京司

〔学校長〕 武田 博利

〔教頭〕 今西 憲司

奥村 治平

〔教諭〕

〔教諭〕
森山 欣哉
山岡 威光
山島 裕司
山中 克彦
山本 千尋
山本 利加

山本 恭寿
吉川 善彦
吉村 慎訓
渡邊ユカリ
綿本 恵一

〔事務〕

事務長 浅川 正美
参事 吉崎登佐夫
課長 杉本 昭二
係長 寺井 公彦
係長 中谷小菜江

福永 邦雄
畑 和華保
竹本 春美

卒業生総数

(平成18年3月現在)

旧制中学	702名
新制高校	
普通科	8,837名
商業科	4,148名
電子科	4,750名
自動車工学科	4,681名
計	23,118名



(旧校章)



(新校章)

学校行事

平成18年度のおもな学校行事

- 4月6日 始業式
- 7日 入学式
- 20日 健康診断
- 28日 創立記念日
- 5月1日 交通安全指導
- 2日 校外学習
- 6日 人権教育映画鑑賞
- 24日 中間考査開始
- 7月3日 期末考査開始
- 7日 校内球技大会
- 20日 終業式
- 9月1日 始業式
- 8・9日 文化祭
- 22日 体育祭
- 10月18日 修学旅行出発式(1・2・3年)
- 21日 中間考査(1・3年)
- 12月6日 期末考査開始
- 22日 終業式
- 1月9日 始業式
- 2月5日 高校入試
- 3月1日 卒業式
- 3日 学年末考査開始
- 20日 終業式



平成七年度卒業

溝邊 一恒

十年一昔。正強高校から奈良大学附属高校へと移り変わる時期に私は本校を卒業した。旧正強高校の最後の卒業生だ。あれから十年。毎朝通勤の度に旧校舎跡地を通り過ぎる。そこにはもう新しいマンションが建っていて、学校があったという面影は微塵も感じられない。それでも私を育ててくれた正強高校は、目を瞑れば今でもハッキリと鮮明に浮かんでくる。先生方の暖かいご指導、多くの仲間達に囲まれ、人生で最も大切に、最も多感な時期をここで過ごせたことを本当に感謝している。現在も当時の仲間達との交流は続いている。皆に会うたびに少しずつ変化が感じられ成長に気付かされる。それを目の当たりにすることが、自分自身が前へ進むための糧となる。現在在学中の生徒諸君も、多くの仲間と遊び、学び、切磋琢磨し、将来自分の核となる何かを見つけ出す、或いはそのきっかけとなるような悔いの無い高校生活を送っていただきたい。



平成八年度卒業

園田 秀樹

私は正強高校から奈良大学附属高校に校名が変わった第一期生です。早いもので十年が経とうとしています。高校時代は色々な思い出があります。やはり、自動車工学科で学んだことが印象深いです。実習や製図の授業はもちろんですが、とくに全国自動車教育研究会主催のエコデーン・レースに自分たちで作った車両で参加したことが一番の思い出です。何とか一時間走行することができ、入賞はできませんでしたが、先生方と夜遅くまで、無我夢中になって車両製作

に勤み、完成させたときの喜びは今でもはっきりと覚えています。

私は幼少の頃より、自動車関係の仕事に就きたいと思っていました。その夢が今実現しています。現在、財団法人・奈良県自動車整備振興会で業務を担当しています。自動車整備に関するさまざまな分野で健全な整備事業が推進される手助けをする仕事です。仕事上難しいことが多々ありますが、本校で学んだ知識と根性で頑張っています。

今年で自動車工学科がなくなると聞き、たいへん残念で寂しい気持ちです。自動車料がなくなっても、今の自分があるのは本校で学んだお陰とと思っています。これからも頑張っていきたいと思います。



平成十四年度卒業

佐野 綾香

生涯続けられる仕事に就きたいと考えていた私は、あえて大学進学を考えず、美容師への進路に進みました。現在、奈良市内にある美容室で、美容師一年目として頑張っています。

華やかに見える美容の現場にも、それ以上に厳しくつらい事も沢山あります。しかし、色々と丁寧な指導してくださる上司や明るく楽しいスタッフ、そして何よりも未熟な私の仕事に「ありがとう」と言ってくくださるお客様に支えられ、今の私があることを日々実感させられます。そこには、技術はもろんのこ

と、周囲のスタッフやお客様との良い人間関係づくりが、自らの成長に繋がっていくことに気付かされるのです。

仕事を通じてこのように私が成長できるのも、高校時代にクラスやバレーボールクラブを通じて学んだ「人を想いやる気持ち」「目標に向けて努力する」「挫けることのない忍耐力を養う」などの基礎が育めたからだと考えます。いま私は、高校時代に培ったことと美容師として身につけた技術。そして家族の協力に支えられながら、一人でも多くのお客様に心身ともに満足して帰っていただけるように、スタッフ共々技術力のある美しいサロンを目指すことに夢中になっています。



平成十五年卒業
浅井 琴子



奈良大学附属高校を卒業して早や二年が経ちました。通い慣れた学び舎からの巣立ちは、私にとって新たな現実との直面だったと今、感じています。人は自分のことと同時に、他人こともあわせて考えることのできる能力が与えられていると思います。それは自分はこれでいい。でも、他人はそれでいいのだろうか。などという自他共存への思いなのです。今、私達がこうして日々暮らしているのは、さまざまな人からの努力の産物なのだと思うのです。決して自分の力だけで生きているのではなく、多くの人の力添えによって生かされているのだと感じています。この世はお互いに恩恵を与え、与えられつつ成り立っているのです。そして人の心を

思いやれる人というのは人の痛みを我がの痛みと感じることが出来る人である。この能力は人間に与えられた厚い力だと私は思います。この大切な力を放棄することなく、日々を過ごしていくことの重要さを心に刻みはじめたのです。新しい環境の中で、人との出会い・自然・文化・本との出会いに素直に感動し、その出会いの中から、たくさん「夢」を持ちどんな逆風にもめげず、あせらず、多くの感動や人々とふれあうことにより、大切な「心」を忘れず、自分の道をひたすら歩んでいきたいと、決意を新たにしています。

平成十五年卒業
矢尾 恵理子

私が母校を志望した理由は、「かわいい制服」「アメリカへの修学旅行」「野球が強い」という三つです。野球部のマネージャーをしたかったのですが、すでに人数が多く入部できず、結局少し経験があったバレーボール部に入部しました。しかし少ない部員と厳しいコーチの指導が辛かったのですが近畿私学大会に出場することもでき、三年間辞めずに友達と頑張った事は今でも私の誇りです。

大学入試対策は授業をしつかり聞いて中間・期末考査で結果を出すことです。その成果が実り関西外国語大学へ進むことができました。

三年間支えて下さった恩師、そして友人との出会いをくれた高校生活はかけがえない私の宝物です。

平成十六年度卒業
藤巻 達哉

今に思うと私の人生は、奈良大学附属高校に入学した時点から大きく変わっていったと思います。高校という新しい環境の中で、新しい友人・先生方と出会って、今までにない自分が見えてきたような気がしました。高校での三年間という短い時間でしたが、生徒会に部活、自分でも驚くほどの経験をし、そして色々な事を学びました。仲間・友達という存在の大切さ、努力を忘れない心、そして何より重要な事は、何事にも全力でぶつかり、悔いを残さないようにすることです。これが一番大切なのだと三年間の高校生活の中で気付かされました。この先長い人生には、私が予想だにしない出来事が沢山待ち受けている事だと思えます。その中には挫折や失敗もあると思います。そんな時は「努力が天才なり」この言葉を思い出そうと思います。この言葉はきつと明日への活力となってくると信じているからです。

最後になりましたが本校のますますのご発展を祈念しています。



平成十六年度卒業
山本 礼奈

奈良大学附属高校を卒業して、もう一年が経とうとしているなんて、本当に信じられないです。実は私は、入学式を迎えるまで、この高校に通うことが嫌でした。と言うのも、第一志望であった高校に落ちたので、仕方なく通うことになったという心持だったからです。しかし、とても良い先生方、そして友人たちに巡り合うことができて、とても充実した高校生活を送ることができました。私のクラスはみんな本当に仲が良く、そしてお互いがお互いを刺激しあうようなクラスで、自分から進んで勉強することが苦手だった私に、多くの良い刺激を与えてくれました。この三年間があったからこそ、現在の私があるのだと思います。

現在、私は大学で法律の勉強をしています。毎日知らなかった世界を学ぶことができて、本当に充実した生活を送ることができています。残りの三年間も充実した大学生活を送れるよう、今後も頑張っていきたいです。



平成十八年度卒業
佐野 奈々絵

奈良大学附属高校で過ごした三年間は本当に充実したものでした。元々私はどちらかというと消極的な性格で、そのため入学当初はなかなか友達ができませんでした。しかし日を重ねるごとにたくさんの方の良い友達や、部活動へ入ることによって学年の違った人との関わりも増え、それまで以上に毎日が楽しく、充実した日々へと変わりました。

在学中、私は一つの目標を持っていました。その目標というのは、何事にも積極的に参加、体験をするというものでした。そこですべて保育ボランティアというものが附属幼稚園で行われると知り参加してみることになりました。実際に幼稚園くらいの子供と接するのはその時が初めてで色々大変でしたが、しかし、終わった後は達成感や充実感がありとても気持ちの良いものでした。そしてその経験がきっかけとなり今の学校へ通うことになりました。

奈良大学附属高校で三年間過

ごし、出会いの大切さ、何事にも積極的に参加してみるこの大切さなど、様々なことに気づき、学ぶことができました。高校生活を奈良大学附属高校で過ごせたことをとても嬉しく感謝しています。

この春、妹も奈良大学附属高校へ通うことになりました。私が高校生活を充実している様子を見て、それがこの高校に進学したいというきっかけになったようです。

セミナーハウス・トレーニングルーム
完成予想図



法人創立80周年記念事業の一つとしてセミナーハウス・トレーニングルーム建設が具体的に動き出した。3月3日の安全祈願祭には学校関係者と建設請負業者も参加。市川良哉理事長、武田博利校長、久保田正一正強会長らが玉串を捧げて工事の安全を祈念した。自動車実習棟を解体し、その場に新しいセミナーハウス棟が建設され、平成8年から約10年間自動車工学科の生徒達が実習に取り組んだ学舎で一面寂しい気持ちもありますが、新しい時代に向かって進んでいきます。

新棟は鉄筋コンクリート2階建て、延べ930平方メートル（1階515平方メートル、2階415平方メートル）。1階はトレーニングルームとセミナー室、便所、管理室、キッチン等々。2階は80人が宿泊できる宿泊室10室と指導員室2室と便所、テラス、自習室。外観も西側にセミナー室を設け、夜の学習時には美しい照明で注目を引くと思われます。

今年9月末の完成で秋から多くの利用者が予想されます。進学を目的とした宿泊講習を中心にクラブ活動合宿、各種研修会、語学研修の交換留学生研修会、生徒会活動、公開講座、地域住民参加の講演会等々。トレーニングルームは約140平方メートルの広さでトレーニング機器を備え、クラブ活動や体育の授業に使用します。生徒達も一日も早い完成を期待しております。80周年記念行事として建設されるこの建物で、本校のキャンパスのイメージも一新され力強い第一歩を歩み始めることとなります。

クラブ紹介

「鉄道研究部」

部長 E3A 中尾裕也



私たち鉄道研究部員は現在7名で、放課後5時頃まで毎日活動しています。その内容は鉄道模型の補修、制作、試運転走行など行っており休日にはいろいろな駅に行つて電車や臨時列車の撮影に出かけています。夏休みには、静岡県の大井川鉄道に行つて来ました。そこで蒸気機関車の撮影と鉄道の歴史等を学びました。又、文化祭には夏休みの合宿での撮影写真の公開や、創作模型を走らせたりしています。クラブ員全員、とても鉄道に興味をもっている熱いマニア達です。これからの鉄道研究部は鉄道のあらゆるジャンルに関しより研究を積み重ねていきますので、ご支援をお願い申し上げます。



剣道男女 全国選抜大会 アベック出場

3月27日・28日と愛知県春日井市での全国大会に本校剣道部男女が揃つて出場しました。昨年は女子が出場しベスト16でした。男子チームは秋の県予選で強豪校の郡山、添上、十津川高校を破り、6年ぶり9回目の優勝をし、県代表となりました。女子チームは郡山・桜井高校を接戦の末破り、2年連続7回目の優勝をし、全国への切符を手に入れました。これも日頃の厳しい練習の成果であり、両監督の情熱のこもった指導と選手達の努力の結果だと思えます。全国大会では男女共、予選リーグで1勝1敗となり決勝トーナメントに進出できませんでしたがこの全国の強豪相手との対戦経験が夏のインターハイ予選への自信となり、活躍してくれることを期待しております。応援ありがとうございました。

平成十六・十七年度 卒業生の進路

■主な進学先

奈良大学・北海道大学・神戸大学・奈良県立医科大学・大阪市立大学・京都府立大学・高知大学・山口大学・都留文科大学・同志社大学・立命館大学・関西学院大学・関西大学・同志社女子大学・龍谷大学・京都産業大学・近畿大学・関西外国語大学・京都外国語大学・桃山学院大学・帝塚山大学・奈良産業大学・大阪工業大学・英知大学・法政大学・東京理科大学・東京農業大学・大阪産業大学・大阪経済大学・大阪電気通信大学・大阪体育大学・大阪芸術大学・大阪樟蔭女子大学・大阪商業大学・天理大学・花園大学・フール学院大学・佛教大学・大谷大学・ノートルダム女子大学・阪南大学・京都精華大学・名古屋外国語大学・東海大学・皇學館大学・中京大学 など

■平成十七年度の就職先

森精機製作所・ホンダネット奈良・パブコ近畿・近鉄車両エンジニアリング・ブリヂストン・サカイ引越センター・ダイハツ工業・富士電線工業・三菱ふそうトラック・葛城オートバックス・京都南車検センター協同組合・陸上自衛隊・海上自衛隊

■主な専門学校先

歯科・看護・コンピュータ・調理師・自動車・観光・美容・秘書・建築・法律・製菓などの専門学校に進学



奈良大学附属高等学校 平成19年度募集要項

●募集人数

普通科	英数(特進)コース	2クラス	80名程度
	文理コース	3クラス	120名程度
	標準コース	2クラス	80名程度
	情報科学コース	1クラス	40名程度
合計		8クラス	320名

●願書受付期間

平成19年1月19日(金)～1月25日(木)
願書提出は郵送のこと(1月25日の消印有効)
中学校からの一括持込可

●入試日程

専願 平成19年2月5日(月)・6日(火)
併願 平成19年2月5日(月)

●試験内容(専願・併願共)

国語・数学・英語・社会・理科・面接(専願のみ)

●合格発表

平成19年2月8日(木) 個人郵送及び校内掲示

◎入試説明会(保護者・受験生対象)

・平成18年11月11日(土)
13時より本校にて
・平成18年12月2日(土)
13時より本校にて

◎オープン・キャンパス

・平成18年7月30日(日)
10時～13時
・平成18年8月19日(土)
10時～13時



正強高校 校歌

作詞 大上 敬義
作曲 寺島 咲子

一、
ああ青丹よし平城の
山うるわしく野は清し
千古の流れ 日に新た
青春ここに血は沸る
共に学び 共に誇る
君よ正強 われら正強

二、
堂の夜や 雪の朝
心正しく身は強し
春秋さらに 洋々と
理想の国を 夢見つつ
共に学び 共に誇る
君よ正強 われら正強

奈良大学附属高等学校 校歌

作詞 田中 順二
作曲 水谷川 忠俊

一、
見はるかす 美しい国原
吹きわたる みどりの風に
眉上げて 未来の夢を
誇らかに はぐくみゆかん
こぞ秋篠 大和の国の
こぞ秋篠 大空に
はばたく はばたく
若人われら
奈良 奈良 奈良大附属高校

二、
いにしへも 今も絶えせず
生駒山 雲湧く嶺を
呼びかはし 学びてゆかん
こぞ秋篠 大和の国の
こぞ秋篠 青春の
花咲く 花咲く
若人われら
奈良 奈良 奈良大附属高校

三、
山陵みやまの 古きを尋ね
新しき 科学の道を
はるかなる 世界の友と
国超えて 究めてゆかん
こぞ秋篠 大和の国の
こぞ秋篠 知恵聴く
かがやく かがやく
若人われら
奈良 奈良 奈良大附属高校

